

2025 年 6 月 11 日

報道機関 各位

長崎大学で「大学生運動部活動地域貢献プロジェクト」始動 ～大学生指導者育成に向けた研修会を 6 月 14 日に開催～

長崎大学教育学部の小柳勝彦教授は、児童生徒のスポーツ環境の整備や教員の働き方改革、そして地域の担い手不足といった社会課題に対応するため、「大学生運動部活動地域貢献プロジェクト」を立ち上げました。2025 年 6 月 14 日（土）には、指導者として必要な知識を学び、資格取得を目指す研修会を、長崎大学文教キャンパスで開催します。

部活動の地域移行が進む中、指導者不足や安全管理の不安が課題となっています。本プロジェクトは、大学生や地域の指導者を対象に、ハラスメント防止や安全管理の知識など、「今の時代に求められる指導者」としての基礎を学ぶ場を提供し、研修修了者を県内の中学校やクラブ活動へ派遣することを目指します。

多くの方にこの取り組みを知っていただけるよう、報道を通じて広く発信していただきたけますと幸いです。取材へお越しいただける場合は、下記問い合わせ先までご連絡をお願いします。

■大学生地域貢献プロジェクト第 1 回研修会 概要

開催日：令和 7 年 6 月 14 日（土）10:00～16:00（昼食休憩 1 時間）※受付は 9:30 より開始

会 場：長崎大学 文教キャンパス 教育学部 2 階 22 番講義室 ※別添に地図あり

スケジュール：

- 10:00～12:00 研修①
- 13:00～15:00 研修②
- 15:00～15:20 学習
- 15:20～15:40 確認テスト
- 16:00～ 修了証発行

受講費用：2,000 円（テキスト代、研修料、検定料、修了証代含む）

※長崎県スポーツ協会が当日徴収し領収書を発行

■Best Link-大学生運動部活動地域貢献プロジェクト-の HP

<https://bestlink-uscp.com/>



【本リリースに関するお問い合わせ先】

教育学部 中等教育講座 保健体育 小柳 勝彦 教授

Mail : k-koyanagi@nagasaki-u.ac.jp Tel : 095-819-2357

別添

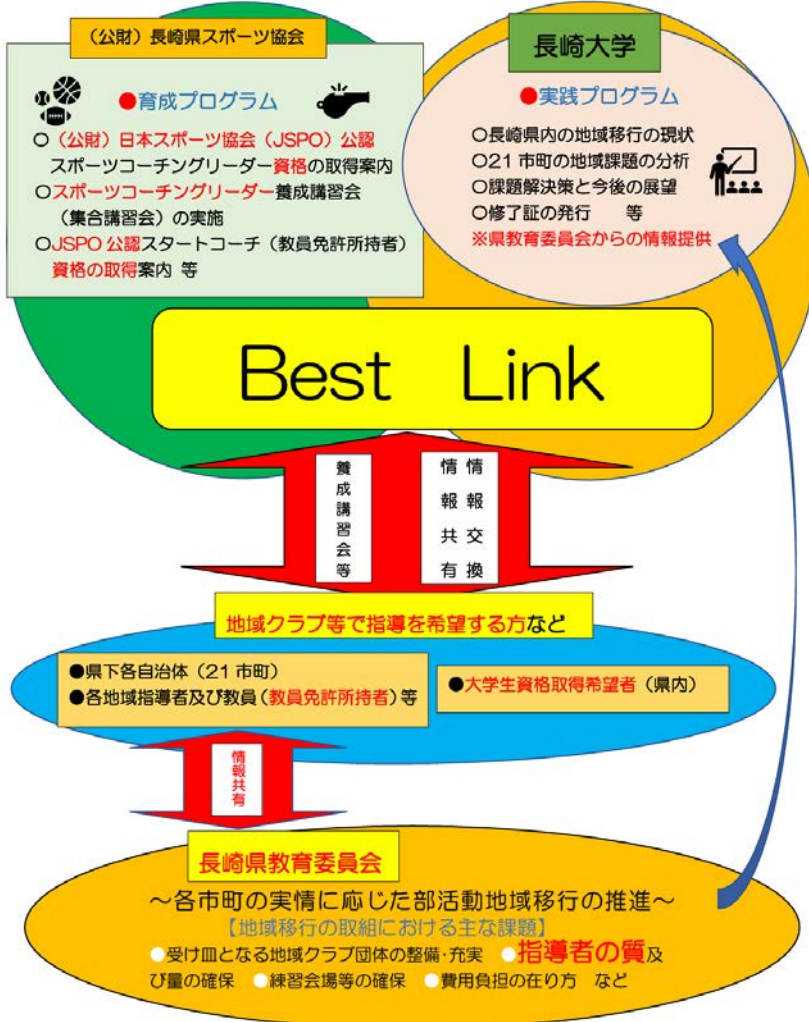




みんなで支える
未来のアスリート

公益財団法人長崎県スポーツ協会もこの事業を応援しています

大学生運動部活動地域貢献プロジェクト



概要

運動部活動の地域移行は、これからの人口減少が進む中、児童生徒が本当にやりたい部活動ができるように、**学校と地域が協力して実現させていく**ことです。

しかし、多くの課題があります。「受益者負担」や「指導者に対する謝金」といった各自治体の財政の問題や教員の働き方改革、「若い力」の必要性などがありますが、それらが**『指導者の確保』**の問題として表面化しています。

長崎県では、発達段階に応じた指導力を有する人材を育成して『指導者の確保』に繋げようとしています。これを実現するために、長崎大学において**「大学生運動部活動地域貢献プロジェクト」**を発足させました。これは、大学生希望者に資格取得を促したり、講習会に参加して理解度に応じて修了証を発行するなど、時代に合った指導法で児童・生徒のニーズに応え、地域を元気にしていく人材づくり、「若い力」を地域に派遣する方法で各自治体に協力していくことを目的としています。また、資格を持たない各地域の指導者や教員に対しても最低限の資格を紹介していきます。これが広がることで、離島が多い長崎県の『指導者の確保』が進み、児童生徒の**『生き生きとした未来』**に繋がります。つまり**【今の時代の研修を受けた多くの指導者を現場に送り出す】**プロジェクトです。

地域移行のメリットは、①児童生徒の選択肢の増加 ②専門的指導の充実 ③教員業務のスリム化 等。デメリットは、①指導者や受け皿の確保の困難さ ②児童生徒の安全上の不安 ③保護者の経済的負担増 等。があります。

このメリットの「②専門的指導の充実」にフォーカスを当て、「何をもって専門的か?」「中学生時代サッカー部で活躍しました。だから指導ができます」では不安があります。今の時代の指導者として、○暴力・暴言の禁止 ○各種ハラスメントの理解と実践 ○休養や水分補給の知識など、研修を受け知識を習得する必要性を感じています。そして、そのことを十分理解した上での**信頼関係**が大事になってきます。研修を受け、資格や修了証を取得した指導者の下での技術指導こそが、児童生徒の心身の発育発達には不可欠だと考えています。このことを広げる活動として実践していきます。

（尚、この事業は令和 7 年 4 月からの実施事業になります。）

Q1 そもそも運動部活動の目的は何ですか？

A 運動部活動は学校教育活動の一環として行われ、生徒の自主的・自発的な参加により行われ、異年齢との交流の中で生徒同士や教員と生徒等の人間関係の構築を図ったり、生徒自身が活動を通して自己肯定感を高めたりするなど、その教育的意義が高い。

Q2 部活動の指導者に必要な資質は何ですか？

A 部活動の指導者は技術指導を通して生徒と関わります。そのため生徒と信頼関係を築けるコミュニケーション能力や、やる気が出るようなコーチング技術があることが重要になります。また安全管理のための知識や万が一の場合の対処能力も必要です。

Q3 なぜ、中学校の運動部活動を地域に移行するのですか？

A 学校の部活動は学校教育の一環としてとても貴重で有意義な役割を担ってきた。しかし近年、人口減少が加速化するなど深刻な少子化が進行するなか、学校の教職員数も減少傾向にある。それに伴い、生徒が選択できる部の減少や部員減少から大会に参加できないなど、部活動の持続可能性の面で厳しさが増している。また、競技経験のない教師が指導せざるを得ないなど、保護者の多様なニーズの高まりが教師の大きな業務負担となっている。そのため生徒が将来に渡りスポーツ活動に継続して親しむ機会の確保や学校の働き方改革の推進による学校教育の質の向上を目指し、部活動を学校から地域に移行していくことになった。

Q4 休日の部活動を地域スポーツ活動として実施する場合、事故等に係る責任の所在はどうなりますか？

A 休日の部活動を地域スポーツ活動に移行する場合、学校教育から切り離すこととなるため、事故等が起こった際は、学校ではなく活動を運営する団体等が責任を負うことになります。

Q5 部活動の指導者の資格には、どんなものがありますか？

A (公財)日本スポーツ協会(JSPO)公認スポーツコーチングリーダー資格があり、公認の資格としては一番ポピュラーな資格です。また、教員(教員免許所持者)が取得できる資格としては、JSPO公認スタートコーチ資格があります。

Q6 実践プログラムでは、どのようなことを研修するのですか？

A 長崎県21市町の地域移行の現状を理解したり、分析したり、各市町が抱えている「困り感」の解決策を模索していく。また必要に応じて指導者の資質の向上等の研修も行う。○暴力・暴言の禁止○ハラスメントの知識理解○休養や水分補給等の実践 等も研修していく。

Q7 実践プログラムでの、「修了証」の発行とは、どういうことですか？

A 実践プログラム研修で実施した内容を、知識としてしっかり把握し、理解し現場で実践できる指導者に「修了証」をベストリンク及び(公財)長崎県スポーツ協会から発行致します。
(実践プログラム終了後に確認テスト有り、7割以上が合格となる。)

【補足】その他、部活動の地域連携・地域移行全般や「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関するガイドライン」に関するQ&Aがスポーツ庁・文化庁のHPにまとめてありますので、参考としてご活用ください。